



第15期 報告書

2016.3.1 ~ 2017.2.28



マックスバリュ九州株式会社

証券コード:3171



経営理念

より信頼される
企業を目指して



- 1 お客さま第一に徹して、
お客さまの喜びを私たちの喜びとします。
- 2 お客さまにとって価値ある商品とサービスを
提供します。
- 3 信頼される企業市民として
地域社会に環境保全・社会貢献活動をしします。
- 4 従業員を尊重し、成果に対して正当な評価をして
働き甲斐のある職場の実現をします。
- 5 常に絶えざる革新に挑戦し、
高い生産性と収益性を実現します。



株主の皆さまへ

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業年度は、株価の上昇等により景気の先行きの明るさは見え始めているものの、アメリカやヨーロッパにおける政治環境の変化や、世界景気をけん引してきた新興国の経済成長の鈍化が見られることに加え、我が国においても人口減少・都市部への集中・少子高齢化の進展によるマーケットの変化が続いています。当社の事業基盤であります九州地域におきましては、2016年4月に発生した熊本地震により、地域経済に多大な影響を及ぼしました。クルーズ船の寄港やローコスト航空会社の路線増加によるインバウンド消費拡大にも鈍化が見られるとともに、生活物価の上昇による消費者の生活防衛意識の高まりや、商品・資材・燃料等の価格高止まり、店舗運営人材の確保難と労働単価の上昇、異業態の食品小売進出による店舗間競争の激化等により、取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社は『すべてはお客さまのために』を原点にベストローカルを実現し、九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョンのもと、店舗数の拡大及び既存店の活性化、お客さまニーズの変化に対応した商品群の積極導入を図ることにより、持続的な成長と

業績ハイライト

売 上 高	170,353百万円
営 業 利 益	2,619百万円
当 期 純 利 益	1,117百万円

地域社会への貢献を目指し、熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高170,353百万円（前期比109.9%）、営業利益2,619百万円（前期比127.5%）、経常利益2,647百万円（前期比124.2%）、当期純利益は1,117百万円（前期比235.3%）と、前期に続き増収増益となりました。

当社は今後も引き続き、お客さまに広くご支持いただける企業を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年5月

マックスバリュ九州株式会社
代表取締役社長

佐々木 勉 Tsutomu Sasaki



今後の戦略

九州における経済環境は、2016年4月に発生した熊本地震により大きな影響を受け、復興への取り組みが続いております。地域や業種によってはやや明るさがみえるものの、消費マインドの低下や家計収入の伸び悩み等により、引き続き厳しい経営環境が続くものと考えられます。また、消費者の低価格志向の強まりや、少子高齢化と人口減、都市部への人口回帰によるマーケットの縮小、異業種の食品市場への参入拡大等により、厳しい価格競争はさらに激化するものと考えられます。このような環境のなか、当社は『すべてはお客さまのために』を原点にベストローカルを実現し、九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョン実現へ向けて2013年からの10年間を「飛躍の10年」とし、次の施策に取り組んでまいります。

① 店舗フォーマットの分化と確立

当社の成長の原動力となっているマックスバリュフォーマットは、旧来の食品スーパーマーケットと比較して、深夜を含む長時間営業や2,000㎡前後の広い売場、入りやすく出やすいダイレクトパーキング、日々忙しいお客さまに対応したショートタイムショッピングの実現等の特徴を持ち、強い競争力を発揮してきました。

昨今、競合各社においても同様の強みを持つ店舗が増加するとともに、小商圏を対象とし業態を超えて専門特化した競合店舗が高速出店を行い、競争が激化しています。新たな競争環境に適合し、さらなる強みを生み出すために、2016年3月より「店舗フォーマットの分化と確立」への取り組みをスタートさせました。

目指す方向性は3つの店舗フォーマットと定義し

- 1) 小商圏かつアーバンコンビニエンスの都市型エクスプレスフォーマット
- 2) 圧倒的地域一番店を目指すライフスタイル提案型フォーマット
- 3) 低価格で広域商圏から集客し、生鮮食品を中心とし、より価格競争力を強化した新しいザ・ビッグフォーマットの確立に取り組み、新規出店並びに既存店の改装を順次進めてまいります。

【ライフスタイル提案型フォーマット マックスバリュ熊本北店】



【ザ・ビッグフォーマット ザ・ビッグ中原店】



② 品揃え改革の実行

ヘルス&ウェルネス&ハピネスをキーワードとして、売れ筋商品を地域で一番販売する体制の確立に取り組むとともに、産地との取り組み強化やローカルブランド商品の売場展開による地域性の適正化の実行を図り、「松・竹・梅」のグレードバランスや「大・中・小」の提供容量バランスを適正化することで、品揃え欠落の排除に取り組んでまいります。



③ オペレーションの再構築と地域密着経営の推進

地域密着経営を実現するための推進組織を再構築します。地区事業部の再編と権限移譲を行うとともに、フォーマット分化に呼応した機能別組織を導入します。

また、店舗運営人材を確保するため、働き方を変える施策を実行するとともに、個店中心であった採用方式の変革に取り組めます。また、専門技術分野の人材育成も強化し、商品力の強化を図ります。

さらに、従来基本としていた24時間営業体制を見直しし、深夜売上高の少ない店舗を中心に、24時間営業の中止を行う予定としており、人材の有効活用を図ります。

インバウンドに対応したお客さまの国籍の多様化への対応や、従業員の性別を問わない幹部登用の実行によるダイバーシティの推進も、引き続き取り組みを強化します。



環境保全・社会貢献活動の状況

当社は、環境保全や社会貢献を事業活動の一環として取り組むことが地域に根ざした小売業の使命であると認識しております。
当事業年度は次の活動を進めてまいりました。

①ISO14001の基準に基づく環境保全活動の実施

次の内部監査員を目指し、2016年度は30名がISO14001内部監査員養成セミナーを受講いたしました。



②植樹活動の実施

当事業年度は新店で1,346本を地域のお客さまとともに植樹し、累計本数は94,515本となりました。



③トレー、牛乳パック及び空き缶のリサイクル運動、買物袋持参運動並びにマイバスケット運動の実施

回収ボックスの大型化を実施いたしました。



④「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」活動の実施

福祉の増進、環境保全、環境学習、文化・芸術の振興などの分野で活躍する団体への助成を9,591千円実施いたしました。



⑤「被災地を支援する黄色いレシートキャンペーン」の実施

「被災地を支援する黄色いレシートキャンペーン」では、ご投函いただいたお買い上げレシート合計額の1%を寄付いたしました。

＊「東北応援
黄色いレシートキャンペーン」
(3月9日～3月11日実施)
4,394,997円

＊「熊本・大分復興支援
黄色いレシートキャンペーン」
(5月29日～5月30日実施)
2,654,609円



⑥エコキャップ活動の実施

ペットボトルキャップの回収を57店舗で実施し、その収益金284千円を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付いたしました。

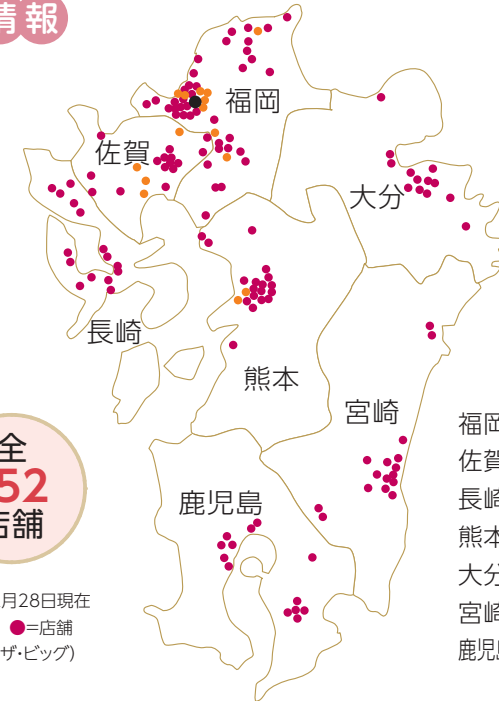


⑦各種募金活動の実施

当事業年度も募金活動を積極的に実施し、お客さまから総額で34,183千円の募金をいただきました。



店舗情報



福岡県 56 店舗
佐賀県 19 店舗
長崎県 15 店舗
熊本県 20 店舗
大分県 13 店舗
宮崎県 16 店舗
鹿児島県 13 店舗

2016年度新規出店・業態変更店舗のご案内

新規出店

2016年
3月10日
オープン



福岡県

マックスバリュエクスプレス二日市店

2016年
3月26日
オープン



鹿児島県

マックスバリュ上荒田店

2016年
9月10日
オープン



熊本県

マックスバリュ九州熊本北店

業態変更

2016年
9月3日
オープン



佐賀県

ザ・ビッグ鳥栖店

2016年
10月1日
オープン



佐賀県

ザ・ビッグ白石店

2016年
11月30日
オープン



佐賀県

ザ・ビッグ江北店

2017年
1月21日
オープン



佐賀県

ザ・ビッグ中原店

○営業の概要

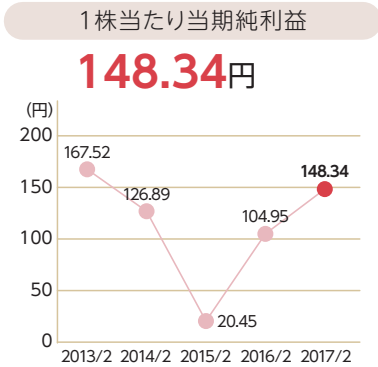
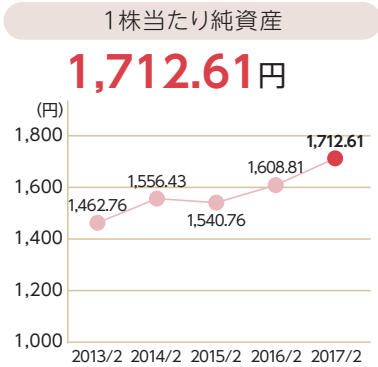
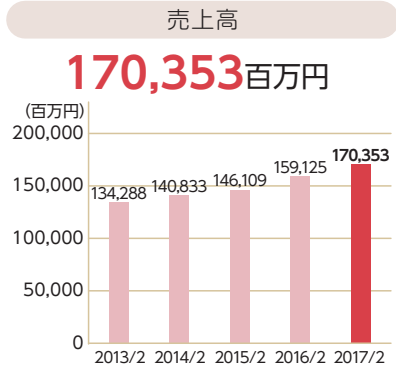
営業面の取り組みとしては、中期経営計画に基づき「ライフスタイル提案型」の品揃えに刷新すべく、既存店の大型改装に取り組みました。マックスバリュ溝陸店(長崎県諫早市)やマックスバリュオブシアミスミ店(鹿児島県鹿児島市)は、お客さまニーズの変化に呼応した品揃えの刷新のみならず、建物外装に至るまで見直しを行いました。また、店内改装や商品入替等の売場手直し等についても積極的に実施し、商品構成の見直しや、地元産和牛等に代表される高品質商品や旬の商品、ヘルス&ウェルネス等のトレンド商品の品揃え拡大に取り組みしました。

食品ディスカウント業態「ザ・ビッグ」につきましては、従来から持つ加工食品やノンフード商品、惣菜等の商品調

達力や価格競争力に加えて、今回合併した㈱フリエイトの持つ生鮮食品調達力・販売力を融合し、生鮮ディスカウントとして収益力強化の取り組みを始めました。

また、イオンのプライベートブランド「トップバリュ」の新規商品の展開や、約100種類のお惣菜を欲しい量だけお買い求めいただける「マックスバリュビュッフェ」を展開し、提供メニューのグレードアップや作業の効率化による品質安定化に取り組みました。さらに、お客さまのライフスタイルの変化に対応した冷凍食品等の簡便商材の展開拡大や、話題のスーパーフードを含む健康食品の品揃え拡大を実施いたしました。

※2014年2月期から2016年2月期までは連結決算です。



○貸借対照表(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	当 期 (2017年2月28日現在)	ご参考 連結貸借対照表 前 期 (2016年2月29日現在)
●資産の部		
流動資産	15,090	14,401
固定資産	21,012	21,739
有形固定資産	14,365	14,952
無形固定資産	35	165
投資その他の資産	6,610	6,622
資産合計	36,102	36,141
●負債の部		
流動負債	20,417	20,309
固定負債	2,711	3,668
負債合計	23,128	23,977
●純資産の部		
株主資本	12,721	11,959
資本金	1,590	1,589
資本剰余金	1,436	1,434
利益剰余金	9,694	8,935
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	179	156 その他の包括利益累計額
新株予約権	72	48
純資産合計	12,973	12,163
負債・純資産合計	36,102	36,141

○損益計算書(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	当 期 (2016年3月1日～ 2017年2月28日)	ご参考 連結損益計算書 前 期 (2015年3月1日～ 2016年2月29日)
売上高	170,353	159,125
売上原価	130,413	121,910
売上総利益	39,940	37,214
その他の営業収入	2,057	1,922
営業総利益	41,998	39,137
販売費及び一般管理費	39,379	37,159
営業利益	2,619	1,977
営業外収益	87	174
営業外費用	58	100
経常利益	2,647	2,050
特別利益	183	219
特別損失	1,138	642
税引前当期純利益	1,691	1,627 税金等調整前当期純利益
法人税、住民税及び事業税	713	841
法人税等調整額	△138	△4
当期純利益	1,117	790

科 目	(単位:百万円)	
	当 期 (2016年3月1日～ 2017年2月28日)	ご参考 連結CF計算書 前 期 (2015年3月1日～ 2016年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,096	3,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,915	△3,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,022	204
現金及び現金同等物の増減額	158	392
現金及び現金同等物の期首残高	6,364	6,022
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	31	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,554	6,414

○キャッシュ・フロー計算書(要旨)

株主還元

当社は、株主の皆さまに対する利益の還元を経営上の重要な施策と位置づけており、事業規模の拡大と経営の効率化によって企業価値を高めるために必要な内部留保資金を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、店舗の新設及び改装、システム投資並びに人材育成のための教育投資等に活用し、事業基盤の強化とさらなる業容の拡大につなげてまいります。

なお、当事業年度の配当金につきましては、1株につき30円の普通配当のほか、特別配当といたしまして第15期記念配当を1株につき10円とすることを決議し、1株当たり40円とさせていただきました。

2017年2月期

1株当たり配当金 40.00円

配当性向 27.0%

会社概要／株式の状況

○会社概要(2017年2月28日現在)

会 社 名	マックスバリュ九州株式会社
設 立	2002年3月
資 本 金	1,590百万円
本店所在地	福岡市博多区博多駅東三丁目13番21号
従 業 員	社員1,399名、フレックス社員他5,714名 (ただし1日8時間換算による)
店 舗 数	152店舗
主要な事業内容	食料品及び日用雑貨品等の小売販売及び テナントに対する不動産賃貸業等

○役員(2017年5月19日現在)

代表取締役社長	佐々木 勉
取締役常務執行役員	井 上 渡
取締役執行役員	田 中 實
取締役執行役員	南 谷 和 彦
社外取締役	青 木 孝 一
社外取締役	林 田 ス マ
常勤監査役	宮 崎 雅 典
社外監査役	古 賀 和 孝
社外監査役	久 家 基 裕
監査役	大 塚 要

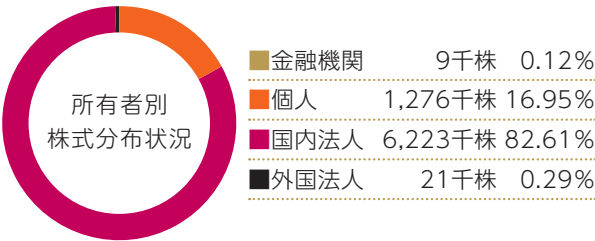
○株式の状況(2017年2月28日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	7,532,995株(うち、自己株式68株)
株 主 数	6,258名

○大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	5,815	77.20
マックスバリュ九州従業員持株会	128	1.70
マックスバリュ九州共栄会	113	1.51
横尾廣昭	49	0.65
牛島真澄	39	0.52
株式会社エーブル	39	0.51
山本ススム	37	0.50
ミニストップ株式会社	32	0.43
マックスバリュ西日本株式会社	30	0.40
三菱食品株式会社	30	0.39
加藤産業株式会社	30	0.39

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(68株)を控除して算出しており、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



株主優待

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主さまに対し、右記のいずれかを贈呈いたします。

ただし、記載の②③の地域特産品は2016年に贈呈した商品であり、2017年は変更になる場合がございます。

区分	①株主さまご優待券	②寒製島原手延べ素麺	③調味料ギフトセット
100株 ～ 999株			
1,000株 ～ 1,999株			
2,000株 以上			

○株主メモ

上 場 市 場	東京証券取引所JASDAQ市場
上 場 日	2012年2月22日
証 券 コ ー ド	3171
事 業 年 度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定 時 株 主 総 会	毎事業年度終了後3か月以内
株 主 確 定 基 準 日	毎年2月末日
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日／毎年8月末日
株 式 の 売 買 単 位	100株
公 告 掲 載 方 法	電子公告とする。ただし、事故その他やむをえない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
電子公告掲載URL	http://www.mv-kyushu.co.jp/
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
各 種 事 務 手 続 き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/

株式に関する 『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

お手続きやご相談は、左記連絡先までご連絡ください。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差し上げてまいります



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3171

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



木を植えています

私たちはイオンです



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙
FSC® C013080